

**令和4年度進行管理・評価シート**  
**白河市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月5日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画の推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	.....	2
2 景観計画の活用	.....	3
3 屋外広告物について	.....	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的まちなみ修景事業	.....	5
2 歴史的風致形成建造物保存修景事業	.....	6
3 市道城山線整備事業	.....	7
4 無電柱化調査事業	.....	8
5 景観学習事業	.....	9
6 リノベーションまちづくり推進事業	.....	10
7 小峰城史跡整備事業	.....	11
8 旧小峰城太鼓櫓等整備事業	.....	12
9 小峰城清水門復元整備事業	.....	13
10 南湖公園史跡整備事業	.....	14
11 無形民俗文化財等記録作成事業	.....	15
12 無形民俗文化財等活動支援事業	.....	16
13 伝統的技術伝承事業	.....	17
14 白河の歴史・文化再発見事業	.....	18
15 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	.....	19
16 しらかわ検定事業	.....	20
17 白河かるた作成事業	.....	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	.....	22
2 文化財の保存・活用を行うための施設	.....	23
3 文化財の防災	.....	24
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	.....	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	26
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	27

評価軸①-1  
組織体制

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
歴史的風致維持向上計画の推進体制			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・まちづくり推進課を中心に、都市計画・文化財部門と連携し、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。
- ・庁内推進本部を設置し、歴史的風致の維持向上に係る取組みを調整し、円滑かつ効果的な事業推進を図る。
- ・法定協議会や各審議会などの協力により本計画の実現を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴まち計画の取り組みについて、客観的な評価や意見を受けるため、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」及び庁内推進本部会議を開催した。

【各会議の実施状況】

- ・歴まち計画担当者会議(まちづくり推進課、文化財課)(令和4年8月24日)
- ・庁内推進本部調整会議・書面会議(令和5年2月15日)
- ・庁内推進本部会議(令和5年2月20日)
- ・白河市歴史的風致維持向上計画協議会(令和5年3月30日)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・複数の課に影響を及ぼす事業について、庁内の連携を図って効果的に事業を推進することが必要である。

状況を示す写真や資料等

■庁内推進本部推進会議【書面会議】

【期日】令和5年2月6日～15日(書面での会議)

【構成員】まちづくり推進課長、文化財課長、都市計画課長、道路河川課長、建築住宅課長、企画政策課長、財政課長、観光課長、農林整備課長

【内容】歴史的風致維持向上計画の進捗状況について報告し、意見を聴取した。

【意見等】

- ・「白河かるた」については、本市の観光資源の紹介につながることから、観光課のイベント等でPRしていきたい。

■庁内推進本部会議

【期日】令和5年2月20日(月)

【構成員】副市長、建設部長、市長公室長、総務部長、産業部長、教育部長

【内容】令和4年度事業の進捗評価について

【意見等】

- ・ゴミ集積ボックスを設置する際の景観法上の規制等について
- ・狎犬の活用推進に向けた取り組みについて
- ・LEDビジョン、デジタルサイネージ等の新たな屋外広告物の規制について



▲ 庁内推進本部会議

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
都市計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 ○本市の都市計画区域内に位置する重点区域について、都市計画を活用することにより良好な景観の形成を図る。  
 ○南湖北側湖畔には、全国にさがけて歴史的風致維持向上地区計画を導入し、歴史的風致にふさわしい建築物等の整備による歴史空間を活用している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地区計画に併せ「白河市南湖湖畔店舗等に係る歴史的風致維持向上地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例」を制定し、建築用途や形態意匠について南湖の歴史的風致にふさわしい建築物の整備を進めている。  
 令和4年度は、地区計画内の出店を目的に、空き店舗外壁の色彩を変更する整備が行われた。  
 ○令和4年度整備件数:1件(平成29年度からの累計4件)

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	○良好な歴史的風致を維持向上させるため、重点区域における都市計画の活用を継続する。 ○南湖公園エリアについて、南湖湖畔の店舗群を維持することが景観上重要であることから、制度の周知や民間等による空き店舗等の利用促進を図る。

状況を示す写真や資料等

○条例の概要

「白河市南湖湖畔店舗等に係る歴史的風致維持向上地区計画内における建築物等の制限に関する条例」

【地区計画の範囲】



【用途の制限内容】

規制内容	現行の規制内容	地区計画導入後の規制内容
建築物の用途	○住宅・共同住宅・寄宿舎・下宿 ○兼用住宅(延べ面積の2分の1以上を居住の用に供し、かつ、事務所や食堂、喫茶店、理髪店などの用途でその部分の床面積合計50㎡以下のもの)	○店舗 ・料理店・飲食店(床面積500㎡以内) ・ホテル・旅館(床面積1,500㎡以内) ○店舗兼住宅 ・料理店・飲食店(居住の用に供する部分は延べ面積の2分の1以内)(居住部分を道路に面した位置へ配置しない) ・ホテル・旅館(その用途に供する部分の床面積1,500㎡以内)
容積率	60%	100%
建ぺい率	40%	50%
建築物の高さの最高限度	8.0m以下 2階以下(地階を設けてはならない)	9.0m以下(軒の高さ:7.0m以下) 2階以下(地下を設けてはならない)

【修景のイメージ】



【形態意匠の制限内容】

- ① 湖畔に面する外壁及び屋根は、歴史的風致に調和したものとする
- ② 屋根は二方向以上の勾配屋根とし、原則として平入りの形状とする
- ③ 道路に面した開口部にシャッターを設ける場合は閉鎖的なものを避ける
- ④ 開口部には引き違いの木製格子戸、又はガラス戸の外側に木製格子を設ける
- ⑤ ソーラーパネル等は設置してはならない
- ⑥ 広告物の素材は自然素材を基本とし、南湖の歴史的風致を損なわないこと

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区について、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法に基づく景観地区の指定を検討する。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。  
 また、景観まちづくり協定地区において「景観まちづくり講習会」や「景観まちづくり協定運営委員会合同会議」を開催したほか、ぐるり白河文化遺産ツアーと連携し景観まちづくりの取組状況の説明を行うなど、景観に対する住民の意識の醸成に努めた。さらには、広報紙に景観をテーマとした年間シリーズを掲載し、景観形成に関する普及啓発に努めた。  
 ○令和4年度届出件数：47件(重点区域8件、推進区域0件、景観計画区域39件(重点・推進区域を除く) ※令和5年2月末現在

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	良好な景観の形成には、そこで暮らす住民の理解と積極的な関わりが必要であることから、景観形成に対する住民の意識の醸成を図るための効果的な取組みについて引き続き検討を行う。

状況を示す写真や資料等



▲ 景観まちづくり講習会



▲ 景観まちづくり協定運営委員会合同会議



▲ ぐるり白河文化遺産ツアー



▲ 広報しらかわ「景観まちづくり通信」

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況
屋外広告物について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成への寄与等のため規制を行ってきたが、より白河市の実情に即した屋外広告物の規制・誘導を図るため、平成25年4月より、独自の屋外広告物条例の制定に向けた取り組みを進め、平成28年4月1日から「白河市屋外広告物等に関する条例」を施行した。

条例では、景観計画との整合性を図るため、計画に位置づけている景観計画重点区域等(重点区域、推進区域(城下町地区)、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区)において、屋外広告物の面積、高さ、色彩等に市独自の許可基準を設け、屋外広告物の規制・誘導を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議に参加し、各自治体の担当者と様々な議題に対する意見交換を行った。また、福島県屋外広告物講習会及び福島県屋外広告美術協同組合白河支部会において、屋外広告事業者に対し市条例の概要説明を行い、取扱基準等の普及啓発に努めた。さらには、屋外広告物適正化旬間(毎年9月1日～9月10日)に併せ、広報紙・ホームページへの掲載や白河支部への協力依頼等により、屋外広告物法及び同法に基づく条例の普及啓発、違反屋外広告物に対する市民や企業の意識啓発に努めた。

○令和4年度許可件数:148件(新規12件、更新120件、変更16件)※令和5年2月末現在

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

投影広告物やLEDビジョンによるデジタルサイネージ等、明確な基準がない新しいタイプの広告物が全国的に普及し始めていることから、それらの対応策について検討する。

状況を示す写真や資料等



▲福島県屋外広告美術協同組合白河支部会

令和4年度北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議 議題一覧

議題	ページ
(1) 講習会	
【議題1】屋外広告物の表示及び屋外広告物の掲出物件の設置に際し、営業所の責任者に相応しい知識を習得させるため都道府県が行っている講習会の開催形式について	国土交通省 1
【議題2】屋外広告物の講習会の開催について	秋田県 4
(2) 安全点検	
【議題3】安全点検について	青森市 9
【議題4】屋外広告物の許可更新時等に求める安全点検について(ドローン使用の可否)	柳川市 14
【議題5】屋外広告物の点検手法等の相談対応について	いわき市 18
(3) 事故対応	
【議題6】屋外広告物に関する事故等への対応について	宮城県 21
【議題7】屋外広告物の落下防止に関する取り組みについて	旭川市 24
【議題8】屋外広告物の事故等に係る対応と行政側の責任について	山形市 28
(4) 許認可事務手続き	
【議題9】屋外広告物許可事務における最新の統一化を図るため実施している取組について	岩手県 31
【議題10】手数料の算定について	八戸市 33
【議題11】屋外広告物許可申請に係る事前相談について	盛岡市 35
【議題12】建築確認未申請の既設工作物に設置する広告物に対する許可申請の取扱いについて	小樽市 39
【議題13】屋外広告物の許可申請等のオンライン申請について	横手市 42
(5) 許可取扱い	
【議題14】風力発電設備に企業名を表示する場合(自家用広告物)の規制について	青森県 44
【議題15】広告を表示しない時組み(骨組み)だけの工作物は、許可を受ける必要があるか	福島県 49
【議題16】同一敷地内に複数店舗のある広告物の面積算定(自己用広告)方法について	白河市 52
【議題17】居住利用広告物に係る許可件数と許可事務の状況について	会津若松市 55
(6) デジタルサイネージ	
【議題18】地方公共団体が設置するデジタルサイネージについて	北海道 61
【議題19】電光掲示板の光量制限について	函館市 64
【議題20】デジタルサイネージ広告の許可申請時及び更新時の取組内容の確認等取扱いについて	山形市 67
(7) 違反対応	
【議題21】既存不適格から違反となった屋外広告物の取扱いについて	山形県 70
【議題22】①閉店、廃業した個人経営店舗等に設置した広告物の取扱いについて ②無許可で広告物を表示する方々への周知や指導について	秋田市 74
【議題23】屋外広告物の未申請又は虚偽の申請により設置された広告物の処遇について	福島県 78
【議題24】違反広告物に対する行政処分について	山形市 81
【議題25】電柱に無許可で設置されている「はり紙・貼り札・立て看板等」の対応について	弘前市 83

▲北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議議題一覧

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
歴史的まちなみ修景事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年(2011)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業(平成30年度～令和2年度)、都市再生整備計画関連事業(都市構造再編集集中支援事業)(令和3年度～令和4年度))、市単独事業		
計画に記載している内容	良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。 ○対象エリア: 景観形成ガイドラインAゾーン(景観計画城下町地区重点推進区域)、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、白河門前通り景観まちづくり協定区域、横町景観まちづくり協定区域、田町景観まちづくり協定区域 ○令和4年度補助件数: 4件(平成23年度からの累計36件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的まちなみ修景事業のさらなる制度周知により、市補助金の活用推進を図る。		

状況を示す写真や資料等

■ 遮へのための造作(板塀の設置)



施工前



施工後

■ 建築物の外観の修景(格子の設置)



施工前



施工後

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年(2021)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的なまちなみを形成する歴史的建造物の保全及び活用を図るため、歴史的風致形成建造物の所有者が行う建造物の修理又は修景に要する経費の一部を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により、歴史的風致形成建造物の修理に対する支援を実施した。			
■令和4年度補助件数:2件3棟(松島家蔵座敷建造物群、松井薬局建造物群2棟)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業完了後も定期的に建造物の状態を確認し、メンテナンス等の相談支援を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
■屋根改修工事(松島家蔵座敷建造物群)			
			
施工前		施工後	
■外壁改修工事(松井薬局建造物群)			
			
施工前		施工後	

評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度
	令和4年度 現在の状況
市道城山線整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年(2016)度～令和4(2022)年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)(平成30年～令和2年度)  
都市再生整備計画関連事業(都市構造再編集中支援事業)(令和3年度～令和4年度)

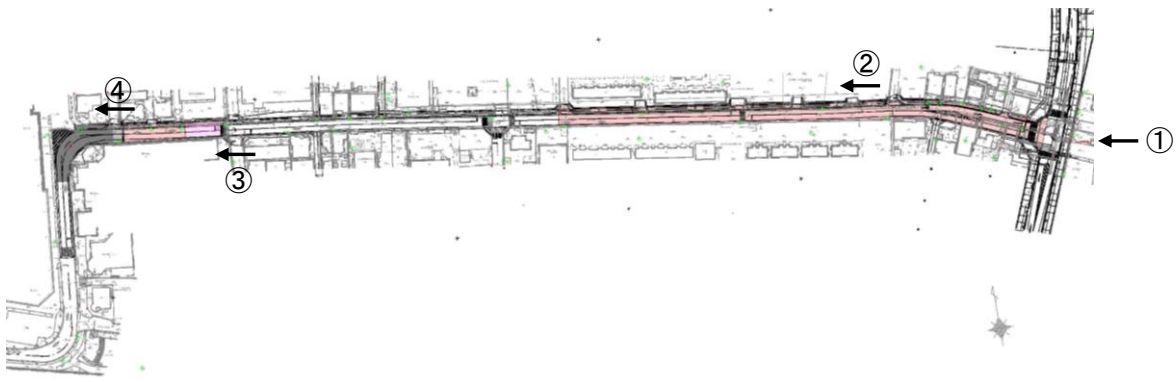
計画に記載している内容 市道城山線は旧奥州街道と小峰城跡を結ぶ重要な路線であり、国道294号バイパスの整備完了に伴い交通量の増加が予想されている。また、当該路線は提灯まつりにおける神社神輿の巡行ルートや屋台・山車の運航ルートであるとともに、沿線には旧小峰城太鼓櫓など歴史的建造物もあり、歩行スペースの確保と拡幅整備により歴史的風致と調和した街路として改良する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度までにL=380mを完了。  
令和4年度は、L=60mの整備工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等





評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
無電柱化調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年(2012)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)及び白河だるま市の運営支障や景観阻害の要因となっている旧奥州街道(国道294号)の電線・電柱類について、道路管理者・事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		現在の道路管理者は福島県となっているが、今後、市へ移管される見込みである。移管後は、県の無電柱化推進計画への登録や無電柱化協議会との調整など、事業実施に向けた手続きについても進めていく予定である。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

景観学習事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

事業期間 平成29年(2017)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 次世代を担う子供たちに「まち」や良好な「景観」に対して関心を持たせ、景観やまちづくりへの意識を高めてもらうことを目的として、小学生を対象とした景観学習事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の3つの小学校(計93人)を対象に、日本大学工学部建築学科住環境研究室の協力により、景観に関する講義やまち歩きを行い、グループレポートに取りまとめた。レポートは、市立図書館ロビーに展示し、活動成果を広く周知した。また、景観学習対象者以外の児童及びその保護者(6組19人)を対象に、親子景観学習「しらかわ景観探検隊」を実施し、若い世代の景観やまちづくりに対する意識の醸成に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 事業の実施には多くの人員が必要であるため、現在は一部の学校のための開催となっていることから、実施方法の見直しや新たな景観啓発事業の実施について引き続き検討を行う。
--	---

状況を示す写真や資料等

■景観学習

対象校	関辺小学校	釜子小学校	白河第一小学校
学年・児童数	5年生 23名	4年生 17名	6年生 53名
日程	1日目／講義・まち歩き	令和4年5月26日(木)	令和4年6月13日(月)
	2日目／レポート作成	令和4年6月6日(月)	令和4年6月21日(火)
	3日目／授業参観	—	—



▲ まち歩き(白河第一小学校)



▲ レポート作成(釜子小学校)

■親子景観学習「しらかわ景観探検隊」  
令和4年11月6日(日)／景観のおはなし・まち歩き・景観マップ作成



▲ 景観クイズに挑戦



▲ 景観マップ作成

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
リノベーションまちづくり推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年(2020)度～令和4年(2022)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内に集積している旧城下町の歴史的建造物の保存と活用が課題となっているため、空き家・空き店舗を積極的に活用する機会を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

所有者に代わり空き家や空き店舗をリノベーションし、事業の創出やコミュニティの形成などエリアのマネジメントを行うまちづくり会社(家守)の育成を目的にセミナーや実践講座を開催した。

実践講座には、地元の若手事業者やまちづくり会社、行政など5チーム23人が参加し、各チームが持ち込んだ事業計画のブラッシュアップを行い、最終日には地域住民に向けて、公開プレゼンテーションを行った。

【セミナー】

- テーマ:『まちの力を育む仕組み「家守」とは』
- 期 日: 令和4年10月12日(水)
- 場 所: 市立図書館りぶらん 地域交流会議室
- 講 師: 花巻家守舎 小友 康広氏、(株)ブルースタジオ 大島 芳彦氏
- 参加者: 51名(会場36名、オンライン15名)

【実践講座】

- 期 日: 令和4年10月30日(日)・11月12日(土)・13日(日) 3日間
- 講 師: (株)ブルースタジオ 大島 芳彦氏、(株)See Visions 東海林 諭宣氏  
花巻家守舎 小友 康広氏、北九州家守舎 遠矢 弘毅氏
- 参加者: 実践講座23名(5チーム)／公開プレゼン聴講21名(会場18名、オンライン3名)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ワークショップで提案された歴史的建造物を活用したビジネスプランの事業化に向けた支援を行っていく。

状況を示す写真や資料等



▲ セミナーの様子

▲ 公開プレゼンテーション

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
小峰城史跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年(2015)度～令和12年(2030)度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 本市のシンボルとして、史跡の価値をさらに高めるため、平成26(2014)年度に策定した『史跡小峰城跡整備基本計画』に基づき事業を実施する。具体的には、①本丸周辺の整備、②石垣修復、③東側丘陵の整備をそれぞれ進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、搦手門周辺および東側丘陵周辺の周遊園路設計を行った。また搦手門跡・鎮護神山・東側丘陵地石垣天端等の樹木伐採を実施し、これまで樹木に覆われていた石垣を顕在化させ、阿武隈川方向から三重櫓を望む景観を改善することができた。また、矢之門周辺の植栽伐採、安全柵の設置、門東側の張芝を行い、景観を整えることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

今後も整備にあたっては、遺構の保全を図り、景観にも配慮しながら実施する。

状況を示す写真や資料等



▲鎮護神山遠景(樹木伐採前)



▲鎮護神山遠景(樹木伐採後)



▲矢之門張芝・柵設置状況

評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
旧小峰城太鼓櫓等整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市構造再編集集中支援事業)		
計画に記載している内容	旧小峰城太鼓櫓は、小峰城の建物群の中で唯一現存する貴重な建造物であるが、経年劣化および震災による影響により、保存状態の悪化が深刻化している。このため、旧小峰城太鼓櫓を解体移築し、国指定史跡小峰城跡と一体的に整備していくとともに、街なかの回遊性向上のため、公開・活用を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
今年度は、移築復元工事および環境整備(休憩棟新築、園路整備等)を実施した。また、8月より一般公開及び貸館を開始した。内部の一般公開は月2回行い、貸館では4件の利用があった。(1月27日時点)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も文化財の価値を継承しながら、より効果的なPRを行い、多くの方に見学・利用していただけるよう努める。		

状況を示す写真や資料等



▲移築前



▲移築後



▲施工中



▲施工中(根継ぎした柱を立てる様子)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
小峰城清水門復元整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年(2020)度～令和7年(2025)度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	清水門は、小峰城の主郭部への入口に位置する大手門・前御門に並ぶ規模の門であり、その重要性から『史跡小峰城跡整備基本計画』において、復元対象と位置付けられている。令和7年(2025)度の復元整備完了を目指し、調査研究や文化庁との協議、各種設計を行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は、清水門復元整備に向けた実施設計及び樺の大柄材の確保を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和5年度は実施設計の完了後、復元工事を開始する(7年度復元整備完了目標)。また、4年度中に確保した樺の大柄材を使用まで保管する。		

状況を示す写真や資料等



▲清水門跡現況(写真中央、南から)



▲清水門の位置  
(奥州白河城下全図:白河市歴史民俗資料館蔵)



▲樺の大柄材調達に係る現地確認の様子

評価軸③-10  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
南湖公園史跡整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年(2017)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)		
計画に記載している内容	史跡名勝としての価値をさらに高めるため、平成29年(2017)度に策定した『史跡名勝南湖公園整備基本計画』に基づき事業を実施する。具体的には、園路整備、水質および植生の改善を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は、北東湖岸東端部及び南西湖岸の園路設計を行うとともに、北東湖岸西側から中央部にかけての園路整備工事を行い、来場者が安全に散策できる環境を整えることができた。 また、統一的な園路照明の設置を目指し、照明施設等基本計画を作成した。 また、福島大学・日本大学との共同研究を実施し、水質および植生の改善に向けた助言を得ることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「史跡名勝南湖公園整備基本計画」に基づき、史跡名勝南湖公園整備指導委員会から助言を得ながら引き続き整備を行う。		

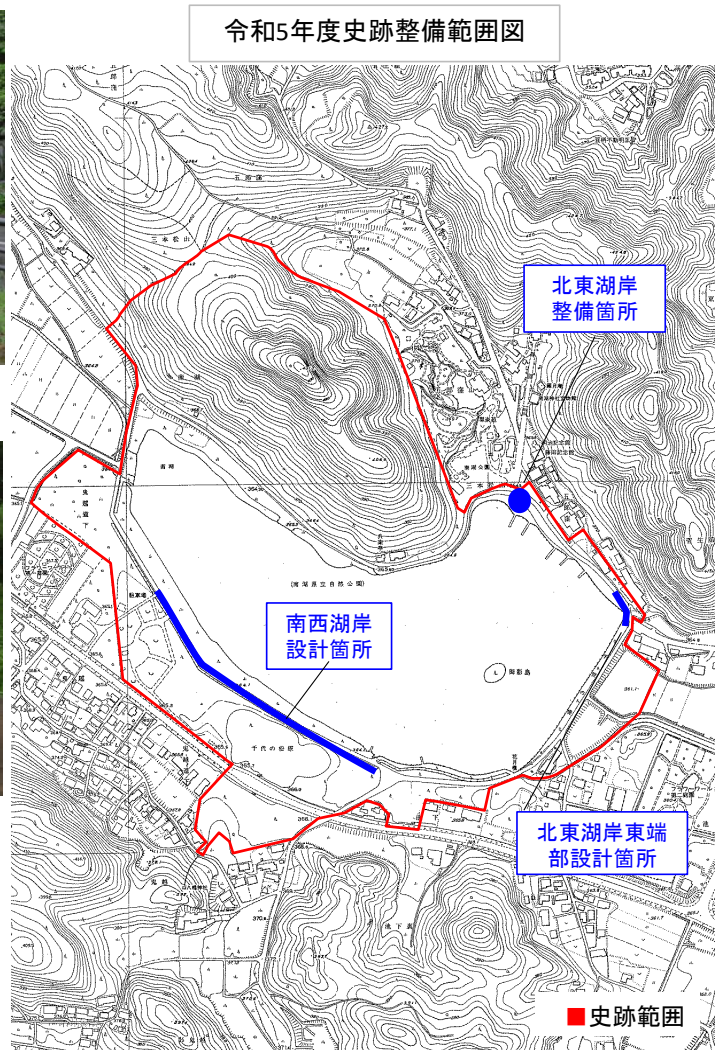
状況を示す写真や資料等



▲南湖公園整備指導委員会現地指導  
(令和4年5月9日)



▲水質共同研究実施状況



評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財等活動記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年(2011)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、写真・映像による活動内容の記録も行った。 ○令和4年度記録件数(見込)：16団体(平成23年度からの累計220団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は記録映像の作成・公開などを検討する。		
状況を示す写真や資料等			
			
▲ 芳賀須内の虫干神楽(白河地域/7月31日)		▲ 犬神の如来様(表郷地域/6月27日)	
			
▲ 下新城のキュウリ天王祭(大信地域/7月3日) (コロナ禍のため神事のみ実施)		▲ 形見の天王祭時の道切(東地域/7月17日)	



評価軸③-12  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財等支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和12年(2030)度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	無形民俗文化財の保存団体等を対象に、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗文化財の保存団体の活動は、後継者不足等の理由により活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、行事を縮小して実施した団体についても、一部支援を行った。  
 ○令和4年度支援件数: 12団体※見込(平成23年度からの累計148団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各団体の要望を把握した上で、より効果的な支援となるよう努める。

状況を示す写真や資料等



▲ 関辺のさんじもさ踊(白河地域/7月3日)  
(コロナ禍のため神事のみ実施)



▲ 河東田牛頭天王祭(表郷地域/6月11日)  
(コロナ禍のため役員のみで実施)



▲ 十日市提灯祭り(大信地域/7月24日)



▲ 釜子の盆踊り(東地域/8月15日)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
伝統的技術伝承事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年(2012)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	民間事業(歴史的風致維持向上支援法人/NPO法人しらかわ建築サポートセンター)		
計画に記載している内容	歴史的な建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会を開催し、修理工法の開発や職人等の人材育成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
NPO法人しらかわ建築サポートセンターの主催により、「旧小峰城太鼓櫓」を題材に研究会を実施した。当日は、設計監修を担当した設計士及び市文化財課の職員を招いて、伝統工法による修理内容の説明を受けながら、改修が完了した建築物を見学した。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■期 日: 令和5年3月18日(土)</li> <li>■場 所: 旧小峰城太鼓櫓</li> <li>■テーマ: 旧小峰城太鼓櫓の改修工事を学ぼう</li> <li>■参加者: 10名(NPO法人しらかわ建築サポートセンター、白河建設組合、白河市)</li> </ul>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、専門家を招いた研究会を開催するとともに、行政と連携しながらモデル修理工事の実施に向けた検討を行う。		

状況を示す写真や資料等



▲ 旧小峰城太鼓櫓を見学する参加者



▲ 担当職員から説明を受ける参加者

評価軸③-14  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
白河の歴史・文化再発見事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年(2021)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白河の歴史についての知識と見聞を広め、郷土の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまちを愛する心を育てるため、小学校1年生から中学校3年生を対象に、「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小・中学校とも「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用し、白河の歴史や伝統文化について各学年ごとにテーマを設け、各種文化団体や市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習した。新型コロナの影響をあらかじめ見込んで計画を立案したため、中止は茶道体験の一部に留まり、その他は計画通りに実施することができた。学習成果の情報発信活動に力を入れ、小6の学習成果を市立図書館に掲示した。本年度はタブレットを活用して新聞を作成した学校も複数見られた。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も、新型コロナ等の影響をあらかじめ見込んで、協力団体・機関との調整や実施内容の精選・重点化を図り、感染拡大防止対策等を十分に行いながら実施する。		

状況を示す写真や資料等



▲ 小学2年生の「読み聞かせ」(令和4年10月28日)



▲ 小学3年生の鈴木家住居見学(令和4年10月28日)



▲ 小学6年生の小峰城・小峰城歴史館見学(令和4年6月8日)



▲ 小学6年生の市立図書館での学習成果掲示(令和4年9月)

令和4年度「歴史文化再発見事業」実施状況

小学校	事業名	対象校	実施校
2年	読み聞かせ	10	10
3年	鈴木家住居見学 大信ふるさと文化伝承館見学	13	13
5年	茶道体験(翠楽苑)	10	10
5年	茶道体験(茶道連盟) ※新型コロナの影響により中止	3	0
6年	小峰城・小峰城歴史館 中山義秀記念文学館見学	13	13
6年	白河の戊辰を学ぶ(出前授業)	7	7
中学校	事業名	対象校	実施校
1年	白河の古代	8	8
2年	松平定信の業績	8	8
2年	白河の戊辰を学ぶ	2	2
3年	しらかわの未来フォーラム	8	8

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	

ぐるり白河文化遺産めぐり事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	---

事業期間 平成21年(2009)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧城下町のエリアには、歴史的な町並み景観や寺・神社などの歴史的・文化的資源が多く残されている。こうした歴史・伝統・文化に触れながら街なかを回遊することで、地域資源の価値を再認識する機会を提供し、本市の魅力を広く発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

実行委員会の主催により、春と秋の2回実施した。

【春のイベント】

旧城下町の寺院に伝わる文化財や寺院の歴史的な背景について、住職の説明を受けながら理解を深めた。

- 期 日: 令和4年5月15日(日)
- 場 所: 関川寺、常瑞寺、常宣寺、龍蔵寺
- テーマ: 「城下町を歩きながら、白河の歴史を学ぼう」
- 参加者: 36名

【秋のイベント】

旧城下町に残る酒造業の基礎知識や製造工程などを学び、本市に伝わる伝統的産業の魅力発信に努めた。

- 期 日: 令和4年10月8日(土)
- 場 所: 大谷忠吉本店、千駒酒造
- テーマ: 「城下町の酒造り」
- 参加者: 36人

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も関係各所と連携しながら、歴史的・文化的資源に着目したテーマを掘り起こし、まちなかの魅力再発見につながる機会を提供していく。
--	--

状況を示す写真や資料等



▲蔵元から酒造りの説明を聞く参加者

▲参加者募集のチラシ(春のツアー)

評価軸③-16  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
しらかわ検定事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成28年(2016)度～令和12年(2030)度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るとともに、市内外に広く本市の魅力を発信するため、白河歴史の手引き「れきしら」の内容から出題する「しらかわ検定」を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

当地検定第6回「しらかわ検定」を開催した。  
 問題は「れきしら」から出題され、受験者にとっては本市の歴史を深く学習する契機となっている。  
 受験者の最年少は9歳(3級)、最高齢は88歳(2級)と幅広い年代が挑戦し、市外在住の受験者の割合も増加傾向にある。

- 日 時: 令和4年7月31日(日)
- 会 場: 東京第一ホテル新白河
- 時 間: 10:10～(3級)、13:30～(2級)、15:10～(1級)
- 受験者: 3級44名、2級32名、1級22名
- 合格者: 3級21名、2級16名、1級16名

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

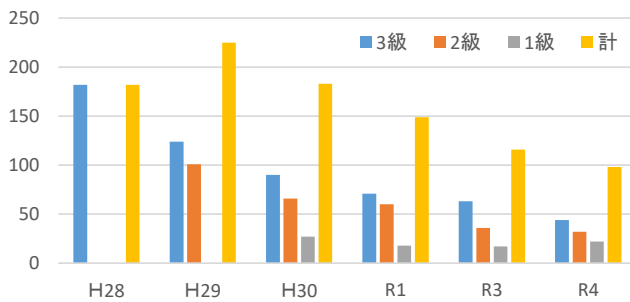
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

自ら進んで学ぶ機会を提供するため、興味深い内容の問題作成としらかわ検定の継続開催に努める。

状況を示す写真や資料等

【受験者数の推移】

受験者数	H28	H29	H30	R1	R3	R4	合計
3級	182	124	90	71	63	44	574
2級	0	101	66	60	36	32	295
1級	0	0	27	18	17	22	84
計	182	225	183	149	116	98	953



## 第6回しらかわ検定

しらかわ検定は、白河市の歴史と伝統に関するご当地検定です。  
 みちのく白河の魅力を再発見できるよう、白河歴史の手引き「れきしら」をもとに、選りすぐりの問題を出題します。

- 開催期日** 令和4年7月31日(日)
- 試験会場** 東京第一ホテル新白河 (JR新白河駅東口)
- 試験種別** 1級、2級、3級
- 受験料** 無料
- 申込期間** 令和4年5月2日(月)～6月30日(木)



\* 詳細については、白河市公式HPまたはチラシをご覧ください。



主催 白河市(事務局 白河市まちづくり推進課) 添0248-22-1111

▲参加者募集のポスター

評価軸③-17 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度		
項目		現在の状況			
白河かるた作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手			
事業期間	令和3年(2021)度～令和5年(2023)度				
支援事業名	市単独事業				
計画に記載している内容	白河を代表する様々な事象を詠んだ「いろはかるた」を作成し、子どもたちが見て・触れて・遊ぶことで、地域固有の歴史・伝統・文化などへの理解を深めるとともに、世代間交流を通して、子どもたちの郷土愛の醸成を図る。				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で					
令和4年度は、「白河かるた振興委員会」を8回開催し、絵札原画の制作と白河かるたの印刷製本に取り組んだ。					
<p>■絵札原画の業務委託                      福島県内で個展等を開催している画家の作風を比較検討し、委員の総意により委託相手を選定した。                      (1)業務委託期間/令和4年6月1日から令和5年1月31日まで                      (2)業務内容/44句の題材に対応した原画(水彩画)の制作</p> <p>■白河かるたの印刷製本                      絵札、読札、解説書、箱のデザイン等を白河かるた振興委員会で検討。                      2,000部作成、市内小学校等に配付、一般販売(令和5年4月以降)。</p>					
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)				
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	多くの子どもたちに、「白河かるた」の楽しさを知ってもらうため、教育委員会等の関係機関と協力体制を構築する。また、小学校等で出前講座を実施し、普及啓発活動に取り組む。				
状況を示す写真や資料等					
白河かるた読み句一覧					
頭文字	題材	読み句	頭文字	題材	読み句
あ	安珍	安珍を しのび念仏 踊り舞う	ぬ	狛犬	抜ける空 飛翔狛犬 雲に乗り
い	稲荷山	稲荷山 白河口の 古戦場	ね	さんじもさ踊り	念仏で 豊作祈る さんじもさ
う	馬市	馬の市 空に響いた 馬喰節	の	白棚線	のんびりと 田園走る 白棚線
え	松平定信	江戸の世に 士民共楽 定信公	は	だるま市	春告げる 福を求めて だるま市
お	白河そば	お殿様 白河そばを 世に広め	ひ	ビヤッコイ	ひっそりと ビヤッコイ息づく 表郷
か	カギ型街路	カギ型に 名残とどめる 城下町	ふ	白河だるま	福を呼ぶ 白河だるまの 鶴と亀
き	きつねうち温泉	きつねうち 温泉湧き出る こんこんと	へ	ダルライザー	平和の士 七転び八起き ダルライザー
く	柳屋旅館蔵座敷	蔵座敷 江戸の面影 脇本陣	ほ	白河口の戦い	戊辰の碑 問わず弔う 敵味方
け	関まつり	下駄の音 踊り手くりだす 関まつり	ま	南湖公園	松影や 南湖のさざ波 光立つ
こ	小峰城	小峰城 三重櫓が お出迎え	み	白河市	みちのくへ はじめの一步 白河市
さ	白河ラーメン	さっぱりと 澄んだスープに 縮れ麺	む	しらかわん	胸に梅 眉毛は鶴の しらかわん
し	白河の関	白河の関 歌人が詠みし 歌枕	め	吉田林右衛門	名奉行 釜子を救った 林右衛門
す	翠楽苑	翠楽苑 四季折々の 景観美	も	白川城	もののふの 思いを継ぎし 白川城
せ	ハリストス正教会	聖堂の イコンが迎える 正教会	や	谷津田川	谷津田川 せせらぎ通り 水車小屋
そ	聖ヶ岩	空高く 聖ヶ岩は そびえ立つ	ゆ	白河結城氏	結城氏の 忠義たたえる 感忠銘
た	白河駅	大正の ロマン漂う 白河駅	よ	関山	義経も 芭蕉も詣でし 関の山
ち	提灯まつり	提灯が 並ぶ鎮守の 神輿渡御	ら	共楽亭	楽翁の 理想伝える 共楽亭
つ	松尾芭蕉	連れだって 芭蕉と曾良の みちのく路	り	りぶらん	りぶらんで 学ぶ調べる 本を読む
て	天狗山	天狗山 一番遅い 山開き	る	おとめ桜	涙誘う おとめ桜の 悲伝説
と	境の明神	隣り合い 境の明神 旧街道	れ	れきしら	れきしらを 読んで深める 郷土愛
な	中山義秀	中山義秀 孤高の文士 文学賞	ろ	コミネス	朗々と コミネスホールに 響く声
に	丹羽長重	丹羽長重 十万石の まちづくり	わ	宗祇戻し	綿を背に 宗祇戻して つむぐ歌

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修繕・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ① 市指定史跡 白河藩大名家墓所(災害復旧工事)  
令和4年3月の震度5強の地震で破損した、石塔3基、灯籠18基について、都市災害復旧事業費補助金を活用して復旧を行った。
- ② 国指定史跡 小峰城跡(災害復旧)  
令和4年3月の震度5強の地震で破損した、本丸南側石垣天端について、修繕を行った。
- ③ 国指定史跡 白川城跡(災害復旧)  
令和4年3月の震度5強の地震で破損した、石塔1基、灯籠4基、石祠1基、玉垣1基、宝篋印塔1基について、修繕を行った。
- ④ 市指定史跡 天神山(附)天神神社  
史跡構成要素である秋葉神社の壁・屋根・床について、所有者が行った修繕に対し、市文化財保存事業費補助金より助成を行った。
- ⑤ 市指定重要文化財(建造物) 共楽亭 屋根修繕  
経年により劣化した小羽葺き屋根について、昨年度修繕を行った西側下屋を除く全面の修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の修繕にあたっては、修繕方法について検討し、文化財の価値を減じないように行う。

状況を示す写真や資料等



▲ 白河藩大名家墓所 五輪塔・灯籠破損状況



▲ 白河藩大名家墓所 五輪塔・灯籠復旧状況



▲ 秋葉神社 壁・屋根破損状況



▲ 秋葉神社 壁・屋根復旧状況

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、小峰城歴史館(旧・白河集古苑)を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史民俗資料館では、白河の歴史と文化を通史的に学ぶことのできる展示を行っている。小峰城歴史館では、特別企画展「松平定信と渋沢栄一」を開催した。また、両館とも定期的に展示替えを行い、歴史資料の公開・活用に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		小峰城歴史館は、市の文化財に関する情報発信の拠点として、引き続き効果的な事業を実施する。また、施設の老朽化が進行している歴史民俗資料館については、改修等を検討する。	
状況を示す写真や資料等			
■歴史民俗資料館(中田7-1) ○来館者数/1,364人(令和5年2月末現在) ○平常展示「白河の歴史と文化」(4/1~3/31)		 <p style="text-align: center;">▲ 歴史民俗資料館展示「白河の歴史と文化」</p>	
■小峰城歴史館(郭内1-73) ○来館者数/14,120人(令和5年2月末現在)			
【展示室1】 ○「小峰城ガイド展示」「小峰城VRシアター」(4/1~3/31)		 <p style="text-align: center;">▲ 特別企画展「松平定信と渋沢栄一」</p>	
【展示室2・3】 ○「小峰城の歴代城主と美術」(4/1~9/4)			
○特別企画展「松平定信と渋沢栄一」(9/17~11/13)			
○「小峰城の歴代城主と美術」(11/25~3/31)			
※閉室/展示替え(5/9~15、5/20~26、9/5~16、11/14~24)			
※閉室/館内燻蒸作業(5/16~5/19)			



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーに併せ、市指定重要文化財(工芸品)刈敷坂の十一面観世音像を所蔵する十一面観音堂(白河市東深仁井田字刈敷坂)において、令和5年1月22日に放水訓練等の火災防御訓練を実施し、約50名が参加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		地域に所在する文化財の保護及び防災意識向上のため、地域住民と連携して、防火体制を確認する「文化財防火デー火災防御訓練」を引き続き実施する。	
状況を示す写真や資料等			
<p>■文化財火災防御訓練</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日時: 令和5年1月22日 午前9時～10時</li> <li>場所: 十一面観音堂(白河市東深仁井田字刈敷坂)                              ※市指定重要文化財(工芸品)「刈敷坂の十一面観世音像」所蔵</li> <li>訓練内容                              ①通報訓練 ②放水訓練 ③水消火器訓練 ④消防設備の点検</li> <li>参加者                              ①白河消防署東分署 ②白河市消防団東方面隊 ③地元町内会 ④白河市</li> </ol>			
			
▲ 地元消防団による放水訓練		▲ 住民参加の消火器取り扱い訓練	

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
----	--------	----------------

文化財の保存及び活用の普及・啓発

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の説明板については、新規設置や改修を計画的に実施しており、令和4年度は3件の改修を実施した。また、「歴史民俗資料館講座」の開催や、「広報しらかわ」での文化財に関する連載記事の掲載など、白河の歴史・文化についての普及事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
これまでの実績をふまえ、より有効な手段を検討しつつ、文化財に関する情報発信を継続的に実施する。

状況を示す写真や資料等

■文化財説明看板の更新

件数:3件

- ①五葉松(市指定天然記念物、表郷社田)
- ②鹿嶋神社の神殿の彫刻(市指定文化財、東下野出島)
- ③小峰寺厨子(県指定文化財、道場町)



▲文化財説明看板の更新(「小峰寺厨子」)

■講座・見学等への講師派遣

件数:11件

- ①「市内史跡巡り」(あったかサロン双石、6/29)
- ②文化財保護行政実務者研修「白河市文化財保存活用地域計画の策定について」(福島県文化財センター白河館、7/15)
- ③歴史館見学解説(西郷村立羽太小学校、9/22)
- ④市内史跡等見学解説(白河第五小学校、10/24)
- ⑤小峰城見学解説(千葉県立関宿城博物館友の会、10/28)
- ⑥歴史館見学解説(本宮市中央公民館、11/1)
- ⑦小峰城見学解説(昭和村遺族会、11/2)
- ⑧歴史館見学解説(西郷村立米小学校、11/16)
- ⑨「白河市の文化財」(大信公民館、11/25)
- ⑩白河関跡見学解説(ツーリズムガイド白河、3/1)
- ⑪「日本史演習・文献(10)(20)」授業支援(中央大学文学部)



▲歴史民俗資料館講座(古文書講座)

■歴史民俗資料館講座

- (1)古文書講座1(初心者向け)受講者数:21人  
開催日:(全5回)12/17、1/7・21、2/4・18
- (2)古文書講座2(中級者向け)受講者数:24人  
開催日:(全5回)12/18、1/8・22、2/5・19
- (3)美術講座(白河の文化財からみる日本美術史Ⅲ)  
受講者数:26人  
開催日:(全5回)12/15、1/12・26、2/9・22



▲広報しらかわ記事連載  
令和5年3月号「しらかわの身近な文化財」

■広報しらかわ記事連載

題名:「しらかわの身近な文化財」  
掲載号:令和4年4月号～令和5年3月号

進捗評価シート		(様式1-5)
評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	評価対象年度	令和4年度
	年月日	掲載紙等
帯曲輪あすから公開 白河の小峰城	令和4年4月8日	福島民報
小峰城帯曲輪、震災で石垣崩落 11年ぶり一般公開	令和4年4月10日	福島民報
小峰城の「帯曲輪」開放 石垣修復、11年ぶり	令和4年4月10日	福島民友
白河歩き 新たな発見 地図作成ワークショップ	令和4年4月26日	福島民友
”地域の景観を知ろう”小学生が街なか回る授業	令和4年5月26日	NHK福島放送局
古里の美しさ見て 児童が景観学習 小峰城や駅舎を撮影	令和4年5月28日	福島民報
南湖公園の景観復元へ 外来植物対策や水質改善	令和4年7月12日	福島民友
しらかわ検定に挑戦 9歳から88歳まで98人	令和4年8月4日	福島民報
旧小峰城太鼓櫓 20日、21日に公開	令和4年8月9日	福島民友
旧小峰城太鼓櫓 移築工事が完了 20日から一般公開	令和4年8月9日	福島民報
旧小峰城太鼓櫓を公開 移築工事完了祝い式典	令和4年8月21日	福島民報
旧小峰城太鼓櫓 公開 修理・移築が完了	令和4年8月21日	福島民友
きょうあす神輿渡御 白河提灯まつり	令和4年9月17日	福島民報
勇壮みこし 4年ぶり 白河提灯まつり	令和5年9月18日	福島民報・福島民友
ゆかりの地で足跡たどる 松平定信と渋沢栄一 南湖神社資料も	令和4年9月21日	福島民報
時代超えたつながり紹介 渋沢栄一×松平定信 小峰城で企画展	令和4年9月23日	福島民友
地域の文化財や史跡PR 県内5市町で歴まちカード 東北初配布	令和4年10月21日	福島民友
各所の歴史カードで紹介 旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷	令和4年11月4日	福島民報
白河市歴史民俗資料館 全国のだるま、ひな人形集結	令和5年2月7日	福島民報
白河かるた原画完成 44種類 製作者、市長に報告	令和5年2月9日	福島民友
白河だるま市 3年ぶり 春呼ぶ活気	令和5年2月12日	福島民報
起き上がる伝統 白河だるま市 3年ぶりにぎわい 来年も継続	令和5年2月12日	福島民友
3年ぶり開催の白河だるま市 一年の幸求め にぎわう	令和5年2月14日	福島民報
白河だるま市 戻った初春の風物詩	令和5年2月14日	福島民友
白河かるた原画完成 小峰城など44種類	令和5年2月15日	福島民報
絹本著色琴棋書画図屏風 白河市重文に 文化審答申	令和5年2月26日	福島民報
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和5年3月30日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的風致形成建造物は白河市歴史的風致維持向上計画(第2期計画)の期間は計画によるバックアップを受けるが、計画が終了すると後ろ盾(バックアップ)が無くなってしまいますので、景観法に基づく景観重要建造物や文化財保護法に基づく登録有形文化財への指定を目指すことも必要ではないか。</li> <li>・歴史的風致形成建造物は老朽化や所有者の高齢化、相続、売買等で取り壊されてしまう案件もあり、これらの貴重な歴史的風致形成建造物をいかに保存・活用していくかが課題である。</li> <li>・無形民俗文化財は口伝による継承が多く、高齢化により若い担い手が慢性的に不足しており、どのように伝承を引き継いでいくかが課題である。</li> </ul>	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的風致形成建造物については、その保存・活用を検討しながら、景観重要建造物への指定や未指定の文化財については、重要性や緊急性を踏まえ、文化財指定に向けた取り組みを随時検討する。</li> <li>・所有者の意向確認も行いながら、分布状況や価値を明らかにし、保存だけでなく利活用についての支援も積極的に行っていく。</li> <li>・地域における伝承を支援するとともに、調査を行い伝承の持続と変遷の在り方について、途絶えることがないよう経過を記録する。市域全体を視野にいれた包括的な視点とそれぞれの行事の現状にあわせた個別的な視点を合わせた保存・活用について検討する。</li> </ul>	

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	年度
項目			
計画に記載している内容			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			